

第2回市会改革推進委員会における意見交換を踏まえた主な論点

1 議会報告会・意見聴取会の実施について

- 議会報告会・意見聴取会を議会として（試行も含めて）実施するかどうか。
 - ・ どのようなテーマで実施するか。
 - ・ 行政区単位や常任委員会単位での実施など、実施単位をどうするか。
- 参加者（数）に関する課題や適正規模をどのように考えるか。

2 情報発信の強化

- 若い世代を対象とした情報発信
 - ・ 子ども向け議場見学会の充実や子ども議会（高校生対象）の開催 など
- ICT環境の充実
 - ・ 本会議及び市長総括質疑におけるインターネット中継のスマートフォン・タブレット対応
 - ・ スマートフォン版市会ホームページの作成
 - ・ SNSによる情報発信 など
- 議長記者会見による情報発信を実施するかどうか。

3 投票率向上に向けた取組

- 若い世代に議会に関心を持ってもらえるよう、市会としてどのような取組を行うか。
 - ・ 小中高生との意見交換
 - ・ 小中高生による本会議の傍聴促進
 - ・ 子ども議会の開催
 - ・ 特定の政策課題に関する高校生・大学生とのワークショップの実施 など

4 政務活動費の公開の在り方

- 市会図書・情報室等で公開していることの周知をどのように充実させるか。
- 政務活動費をどのような形で市民に公開することが望ましいか。
 - ・ 領収書等のインターネット公開
 - ・ 会計帳簿、契約書、成果物等の提出義務化及びインターネット公開
- 領収書等をインターネット公開するに当たり、どのような課題が考えられるか。